

# 北東アジア動向分析

2021 年 3 月

ERINA

## 中国

### プラス成長を実現した中国経済

中国国家统计局が2021年2月28日に発表した「2020年国民経済と社会発展統計公報」によると、2020年の中国の国内総生産（GDP）は101兆5986億元（名目値）であり、実質GDP成長率は前年比2.3%となり、主要国で唯一プラス成長を実現した。三次産業別では、第1次産業の付加価値額は7兆7754億元で前年比3.0%増、第2次産業の付加価値額は38兆4255億元で同2.6%増、第3次産業の付加価値額は55兆3977億元で同2.1%増となった。中国経済は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で第1四半期の実質GDP成長率が前年同期比マイナス6.8%となったが、第2四半期からプラス成長に転じ、第4四半期の同成長率が6.5%となった。

固定資産投資については、2020年全国固定資産投資総額（農家除く）は51兆8907億元で前年比2.9%増となった。三次産業別にみると、第1次産業は前年比19.5%増の1兆3302億元で、第2次産業は同0.1%増の14兆9154億元で、第3次産業は同3.6%増の35兆6451億元であった。ハイテク製造業における固定資産投資は前年比11.5%増で、内訳を見ると医薬製造業、パソコンおよびオフィス機器製造業はそれぞれ同28.4%と同22.4%増となり、ハイテク製造業の成長率は第2次産業平均よりもはるかに高い。また、ハイテクサービス業のうち、電子ビジネスサービス業、情報サービス業における固定資産投資額はそれぞれ前年比20.2%、15.2%増加した。

工業生産に関する統計である工業付加価値額は31兆3071億元で前年比2.4%増加し、また、一定規模以上工業企業（本業の年間売り上げ2000万元以上）の付加価値額は前年比2.8%増加した。四半期別に見ると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け第1四半期は前年同期比8.4%減となったが、第2四半期は同4.4%増でプラス成長に転じ、第3、第4四半期はそれぞれ同5.8%増、同7.1%増となった。企業形態別にみると、国有及び国有持株企業は前年比2.2%増、株式企業は同3.0%増、外資系企業（香港・マカオ・台湾投資企業を含む）は2.4%増、私営企業は同3.7%増であった。

消費については、社会消費品小売総額は39兆1981億元で、前年比3.9%減少したが、第4四半期だけを見ると、前年同期比4.6%増となり、第3四半期より3.7ポイント高く、コロナ感染症の影響から回復しつつある。消費形態で見ると、飲食業は3兆9527億元で前年比16.6%減となり、商品の小売総額は35兆2453億元で同2.3%減となった。消費地別に見ると、都市部は同4.0%減少し、農村部は同3.2%減少した。一定規模以上の小売業等関連企業（本業の年間売上高2000万元以上の卸売企業、500万元以上の小売企業、200万元以上の飲食・宿泊企業）による社会消費品小売総額では、食品類は同9.9%増、飲料類は同14.0%増、化粧品類は同9.5%増、日用品類は同7.5%増、通信機器類は12.9%増となり、高い成長率を示している。また、インターネットを通じて取引された小売額は11兆7601億元で同10.9%増となり、そのうち、実物商品のオンライン小売額は9兆7590億元で同14.8%増となり、社会消費品小売総額の24.9%を占めている。

物価については、2020年消費者物価指数（CPI）は2.5%上昇した。品目別にみる、食品・酒・たばこの価格は前年比8.3%の上昇、教育文化娯楽は同1.3%の上昇、医療保健は同1.8%の上昇、その他の用品とサービスは4.3%の上昇であった。一方、衣服は同0.2%の下落、居住関連は同0.4%の下落、交通通信は同3.5%の下落であり、

生活用品およびサービスは前年と同じ水準であった。食品のうち、豚肉は同 49.7%上昇し、CPI 上昇の 1.6 ポイントを占めている。

貿易に関しては、中国税関総署の公表データによると、2020 年の貿易総額は前年比 1.5%増の 4 兆 6462.6 億ドルであった。うち輸出は 2 兆 5906.5 億ドルで同 3.6%増、輸入は 2 兆 556.1 億ドルで同 1.1%減であった。貿易収支は 5350.3 億ドルの黒字である。2020 年対内（対中）直接投資額（実行ベース、銀行・証券除く）は 1443.7 億ドルで前年比 4.5%増となった。2020 年中国からの対外直接投資（全産業）は 1329.4 億ドルであり、金融業向けの対外直接投資を除くと 1101.5 億ドルである。うち対「一带一路」沿線国への対外直接投資（金融業を除く）は 177.9 億ドルで前年比 18.3%増となった。

### 中国、外国直接投資（FDI）受入額で世界 1 位に

米中経済摩擦や新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続くなか、2020 年の FDI 統計データを見る限り、中国の対外経済関係は後退しなかった。

2021 年 1 月 24 日に国連貿易開発会議（UNCTAD）が公表した報告書によると、2020 年世界の外国直接投資（FDI）額は 8590 億ドルと推計され、前年比 42%減となり、リーマン・ショック時よりも 3 割以上下回った。うち対先進国 FDI は同 69%減となり、対途上国・地域 FDI も同 12%減となった。一方、2020 年の対中国 FDI は 1630 億ドルで同 4%増となり、FDI の受入額では世界 1 位となった。中国商務部によれば、2020 年に対中 FDI（実行ベース、銀行・証券除く）のうち、サービス業向けは 77.7%を占めており、人民元建てでは前年比 13.9%増であった。特に、ハイテクサービス業は同 28.5%増、うち研究開発とデザインサービスは同 78.8%増、科学技術成果転化サービスは同 52.7%増、デジタルビジネスは同 15.1%増、情報サービスは同 11.6%増であり、高い成長率を示している。中国国内市場の成長、イノベーション能力の上昇や IT 技術関連サービス業の成長は注目されていると思われる。

2020 年 11 月 15 日に、東アジア地域包括的経済連携（RCEP）協定が署名され、また 2020 年 12 月 30 日に、中国と EU は包括的投資協定（CAI）に大筋合意した。米中経済摩擦が続くなか、今後中国の対外経済関係を引き続き注視する必要がある。

	単位	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
実質 GDP 成長率	%	9.5	7.9	7.8	7.3	6.9	6.7	6.9	6.6	6.1	2.3
工業総生産伸び率(付加価値額)	%	13.9	10.0	9.7	8.3	5.9	6.0	6.6	6.2	5.7	2.4
固定資産投資伸び率	%	23.8	20.3	19.6	15.7	10.0	8.1	7.2	5.9	5.4	2.9
社会消費品小売総額伸び率	%	17.7	14.3	13.1	12.0	10.7	10.4	10.2	9.0	8.0	-3.9
消費価格上昇率	%	5.4	2.6	2.6	2.0	1.4	2.0	1.6	2.1	2.9	2.5
輸出入収支	億ドル	1,551	2,311	2,592	3,825	5,945	5,100	4,225	3,518	4,215	5,350
輸出伸び率	%	20.3	7.9	7.9	6.1	▲ 2.8	▲ 7.7	7.9	9.9	0.5	3.6
輸入伸び率	%	24.9	4.3	7.3	0.4	▲ 14.1	▲ 5.5	15.9	15.8	▲ 2.8	▲ 1.1
対内直接投資伸び率(実行ベース)	%	9.7	▲ 3.7	5.3	1.7	6.4	4.1	4.0	3.0	2.3	4.5
対外直接投資(フロー)	億ドル	747	878	1078	1231	1457	1961	1583	1430	1369	1329
外貨準備高	億ドル	31,811	33,116	38,213	38,430	33,304	30,105	31,399	30,727	31,079	32,165

(注)

- ・ 前年比。
- ・ 工業製品伸び率は国有企業及び年間売上高 500 万元以上の非国有企業の合計のみ。2011 年からは年間売上高 2,000 万元以上の企業の合計である。
- ・ 2011 年から、固定資産投資額の統計対象は計画投資額が 50 万元以上から 500 万元以上に引き上げた。また、都市部と農村部を統合し、「固定資産投資(農家除く)」として統計している。農家の固定資産投資については別途集計している。
- ・ 外貨準備高は各年末の数値。
- ・ 対内直接投資には、銀行・証券業を除く。
- ・ 対外直接投資には、金融業を含む。
- ・ 2011 年の実質 GDP 成長率は、中国国家统计局が 2013 年 1 月 7 日に発表した数値。2012 年の実質 GDP 成長率は、中国国家统计局が 2014 年 1 月 8 日に発表した数値。2014 年の実質 GDP 成長率は 2015 年 9 月 7 日に発表した数値。

(出所) 中国国家统计局、中国商務部、中国税関総署、国家外貨管理局の資料より作成。

(ERINA 調査研究部研究主任 李春霞)

## ロシア（極東）

### 2020年のロシア経済の状況

新型コロナウイルス感染症とその予防免疫措置がロシア経済に与えた影響は当初予想されていたよりも小さかった。感染者数の急増とロックダウン政策が実施された当初は5%前後の景気後退も懸念されたが、ロシア連邦国家統計庁（ロススタット）による第一次速報値（2021年2月1日）によると3.1%減のマイナス成長にとどまっている。この数値は、IMFのWorld Economic Outlook Update（2021年1月）による3.6%減という予測を上回った。同じくIMF推計では、世界全体の景気後退が3.5%減、先進国4.9%減（米国3.4%減、欧州7.2%減、ドイツ5.4%減、フランス9.0%減、日本5.1%減（日本政府は4.8%減と発表））、新興市場・発展途上諸国1.1%減、中国は2.3%増であった。ロシアは、2000年代末の世界金融危機・リーマンショックの際に、世界で最もダメージを受けた国の1つであったが、今次のコロナショックの影響は欧米先進諸国との比較においてはより軽微であったと見える。

ロシアの2020年四半期別対前年同期比GDP成長率は、第1四半期から第4四半期において1.6%増、8.0%減、3.4%減、2.5%減と推移し、現在も経済は低迷状態にあるが、回復する傾向にある。ロックダウン（「非労働日」）が解除されて以降の経済回復は、制限期間中に延期していた消費需要の充足や社会支援措置の実施、海外渡航制限による国内での夏季休暇などの要因が影響した。この結果、小売売上高は2020年第2四半期の対前年同期比16.0%減から第2四半期1.6%減へ上昇した。ただし、これらの要因は短期的に経済回復を促すにとどまり、その効果は持続的ではない。一方で、住民向けサービスは、コロナショックの影響を最も大きく受けた部門であり、2020年通年で17.1%の生産減となった。大きな分類では、成長した分野は葬儀と宅配・郵便に限られており、それ以外はすべて著しく生産が減少した。なお、外食産業の生産高は、2020年通年で20.7%減、四半期の前年同期比指数でそれぞれ3.1%増、49.7%減、18.3%減、16.9%減であり、2020年12月において前年同月比20.9%減、2021年1月において同11.9%減であり、厳しい状況にある。

鉱工業生産も制限措置解除後の経済回復に伴い、耐久消費財以外の必需品に関して生産が戻りつつあり、鉱工業全体の生産高の減少は、2020年通年で2.6%減にとどまった。他方で、耐久消費財の生産や、主要産油国で構成する「OPECプラス」による協調減産が影響した採掘部門の停滞などがマイナス要因となっている。原油価格（ブレント種）は2020年通年で44.3ドル/バレルであり、前年の43.0ドル/バレルとほぼ同じ水準である。2020年の中盤には20ドル/バレルを下回る水準にまで低下したが、年末にかけて40ドル/バレルを上回るようになった。また、コロナショックにより海外でも不況が深刻となり、資源・エネルギー需要が低迷したこともロシア経済に大きく影響した。このことも関連して、2019年に4245億ドルであった輸出額が2020年には3364億に減少した。2020年の部門別生産高増減率は、鉱業（採掘）は6.9%減、このうち原油・天然ガスは8.1%減、製造業は0.6%増、電気・ガス・蒸気は2.4%減、上下水道・廃棄物は3.8%減となった。

もう一つの経済成長のマイナス要因となっているのは投資活動の低迷である。企業の投資計画の見直しにより、2020年の固定資本投資の増減率は1.4%減となった。今

後は、消費の回復が落ち着き、社会経済支援措置の終了や財政支出の正常化に向けた動きの中で、短期的な成長要因の効果がますます弱くなる。経済発展省の予測（2020年9月）では、2021年の成長を3.3%増、2021年第3四半期に2019年水準を回復し、年末にかけて安定成長に移行するという。この際、家計消費の回復に伴う小売取引高5.1%増、市民向け有料サービス6.7%増が想定されている。他方で、企業の投資計画の見直し、財政支出からの投資の縮小、OPEC+の協調減産の継続などが影響して投資の伸びは3.9%増と抑制的であることが予測されている。なお、この予測ではコロナ「第2波」の発生は想定されていない。ロシア中央銀行の予測（2021年2月12日）では3.0～4.0%のプラス成長、ロシア国立高等経済大学・発展研究センターが専門家の意見を調査しまとめたコンセンサス予測（2021年2月2～11日）では2.8%のプラス成長が予測されている。

鉱工業生産高の増減：2020年

減少	50%減～	記録メディアの複製、楽器製造
	20%減～	石の切断・加工、宝石の加工
	10%減～	鉱物採掘・褐炭採掘処理、自動車・靴・繊維紡績・皮革製品・鉄道車両の製造
	0%減～	原油・天然ガス採掘、自動車部品・電池・セラミック製品・毛皮製品・建設資材・石油製品・ゴム製品・ガラス製品・ニット製品・機械・電気機器の製造、印刷・出版、廃棄物処理・上下水道・蒸気・電力、等
増加	0%増～	鉄鉱石・金属の採掘、木材製品・家具・衣料品・コンピューター・光学機器・食品・飲料品・タバコ・紙製品・金属製品・スポーツ用品・家電製品・ゴム・プラスチック製品・化学製品の製造、等
	10%増～	石鹼・洗剤・香水・化粧品・農業機械・汎用機械・医薬品の製造、等
	20%増～	ボイラー・医療用品・医薬品・医療機器・農業製品・石炭・褐炭の生産、等

住民向けサービス生産高の増減：2020年

減少	50%減～	文化、観光
	40%減～	宿泊施設、療養所、リゾート
	30%減～	輸送、スポーツ、ランドリー
	20%減～	撮影スタジオ、縫製・被服、電子機器の保守・修繕、理髪
	10%減～	住宅修繕・建設、獣医、教育
	0%減～	医療、車両修理、法律、電気通信、住居
増加	0%増～	葬儀、宅配・郵便

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
GDP・実質成長率 (%) <sup>(1)</sup>	4.0	1.8	0.7	▲ 2.0	0.2	1.8	2.8	2.0	▲ 3.1
固定資本投資・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	6.8	0.8	▲ 1.5	▲ 10.1	▲ 0.2	4.8	5.4	2.1	▲ 1.4
鉱工業生産高・実質増減率 (%) <sup>(3)</sup>	3.4	0.4	2.0	0.2	1.8	3.7	3.5	3.4	▲ 2.6
輸送貨物量・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	2.9	0.6	▲ 0.1	0.6	1.8	5.6	2.7	0.6	▲ 4.9
小売売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	6.3	3.9	2.7	▲ 10.0	▲ 4.8	1.3	2.8	1.9	▲ 4.1
サービス売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	3.7	2.1	1.3	▲ 2.0	▲ 0.3	0.2	1.4	0.5	▲ 17.1
実質貨幣可処分所得・増減率 (%) <sup>(2)</sup>	4.6	4.0	▲ 1.2	▲ 2.4	▲ 4.5	▲ 0.5	0.1	1.0	▲ 3.5
消費者物価 (%) <sup>(4)</sup>	6.6	6.5	11.4	12.9	5.4	2.5	4.3	3.0	4.9
輸出額 (10億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>	524.7	527.3	497.8	343.5	285.8	357.8	449.6	424.5	336.4
輸入額 (10億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>	317.2	315.0	286.7	182.7	182.3	227.5	238.5	244.3	231.4
為替相場 (ドル/ルーブル) <sup>(6)</sup>	30.4	32.7	56.3	72.9	60.7	57.6	69.5	61.9	73.9
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) <sup>(7)</sup>	111.6	108.6	99.0	52.3	43.6	54.1	71.3	64.3	42.0

	2018				2019				2020			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
GDP・実質成長率 (%) <sup>(1)</sup>	2.2	2.6	2.5	2.8	0.4	1.1	1.5	2.1	1.6	▲ 8.0	▲ 3.4	▲ 2.5
固定資本投資・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	6.2	5.5	10.4	1.9	1.3	0.3	1.9	2.7	3.5	▲ 5.3	▲ 5.0	1.2
鉱工業生産高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	2.9	2.9	2.9	5.4	3.2	3.2	4.4	2.8	2.6	▲ 6.7	▲ 4.8	▲ 1.7
輸送貨物量・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	2.6	3.3	2.7	2.2	2.3	1.4	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 3.9	▲ 8.2	▲ 5.3	▲ 2.2
小売売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	2.7	3.1	2.7	2.8	2.3	1.9	1.2	2.1	4.4	▲ 16.0	▲ 1.6	▲ 2.8
サービス売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	0.8	2.6	2.3	0.6	0.4	0.2	0.9	0.2	▲ 1.9	▲ 36.1	▲ 17.3	▲ 12.7
実質貨幣可処分所得・増減率 (%) <sup>(2)</sup>	1.0	0.2	▲ 0.0	▲ 0.8	▲ 2.1	0.7	2.5	2.5	1.0	▲ 7.9	▲ 5.3	▲ 1.7

消費者物価 (%) <sup>(4)</sup>	2.2	2.4	3.0	3.9	5.2	5.0	4.3	3.4	2.4	3.1	3.5	4.4
輸出額 (10 億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>	103.0	110.2	112.2	124.2	104.8	102.0	104.3	113.5	90.7	71.5	79.6	94.3
輸入額 (10 億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>	54.7	61.0	60.1	62.6	53.4	59.6	62.8	68.5	53.5	52.4	58.0	67.6
為替相場 (ドル/ルーブル) <sup>(6)</sup>	56.4	62.5	65.5	67.3	65.5	64.3	64.8	63.3	69.3	71.5	75.9	76.4
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) <sup>(7)</sup>	66.8	74.5	75.2	67.7	63.2	68.9	61.9	63.4	50.4	29.3	43.0	44.3

	2019												2021 1月
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経済基礎部門商品・サービス生産高 <sup>(8)</sup>	0.3	1.8	0.5	2.6	▲ 0.8	1.3	2.9	2.5	3.9	4.0	1.8	2.1	
鉱工業生産高・実質増減率 (%) <sup>(3)</sup>	2.7	4.2	2.7	5.2	1.0	3.2	4.3	3.9	5.0	4.4	1.5	2.6	
輸送貨物量・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	2.4	1.9	2.5	2.6	1.0	0.6	▲ 0.8	▲ 0.2	0.6	0.3	▲ 1.2	▲ 1.3	
小売売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	2.2	2.3	2.4	2.0	1.9	1.8	1.5	1.1	0.9	1.9	2.6	1.8	
サービス売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	▲ 0.1	1.5	0.4	0.5	0.3	▲ 0.4	0.0	0.5	1.2	1.1	0.3	0.9	
消費者物価 (%) <sup>(4)</sup>	1.0	0.4	0.3	0.3	0.3	0.0	0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	0.1	0.3	0.4	
輸出額 (10 億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>	32.4	35.2	37.2	36.6	32.7	32.7	33.8	34.7	35.8	37.5	36.2	39.8	
輸入額 (10 億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>	15.6	17.6	20.2	21.0	19.2	19.4	21.5	21.2	20.1	23.1	22.3	23.1	
為替相場 (ドル/ルーブル) <sup>(6)</sup>	66.1	65.8	64.7	64.7	65.1	63.1	63.4	66.5	64.4	63.9	64.1	61.9	
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) <sup>(7)</sup>	59.4	64.0	66.1	71.2	71.3	64.2	63.9	59.0	62.8	59.7	63.2	67.3	
	2020												2021 1月
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経済基礎部門商品・サービス生産高 <sup>(8)</sup>	1.8	4.6	2.1	▲ 9.0	▲ 9.5	▲ 6.9	▲ 4.3	▲ 2.9	▲ 1.8	▲ 4.4	▲ 1.4	0.3	-
鉱工業生産高・実質増減率 (%) <sup>(3)</sup>	1.2	4.6	2.2	▲ 4.7	▲ 8.0	▲ 7.3	▲ 6.1	▲ 4.5	▲ 4.0	▲ 5.7	▲ 1.5	2.1	▲ 2.5
輸送貨物量・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	▲ 3.9	▲ 0.5	▲ 6.8	▲ 6.0	▲ 9.2	▲ 9.5	▲ 7.9	▲ 4.6	▲ 3.4	▲ 3.6	▲ 1.7	▲ 1.3	▲ 2.0

小売売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	2.7	4.7	5.7	▲ 22.6	▲ 18.6	▲ 7.1	▲ 1.1	▲ 1.8	▲ 2.1	▲ 1.4	▲ 3.1	▲ 3.6	▲ 0.1
サービス売上高・実質増減率 (%) <sup>(2)</sup>	0.8	0.1	▲ 6.3	▲ 38.2	▲ 38.9	▲ 31.4	▲ 23.2	▲ 16.8	▲ 12.0	▲ 13.2	▲ 13.8	▲ 11.1	▲ 9.4
消費者物価 (%) <sup>(4)</sup>	0.4	0.3	0.6	0.8	0.3	0.2	0.4	0.0	▲ 0.1	0.4	0.7	0.8	0.7
輸出額 (10 億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>	31.1	29.1	30.5	25.0	21.6	24.9	24.7	23.9	31.1	28.6	30.0	35.8	-
輸入額 (10 億ドル、通関データ) <sup>(5)</sup>	16.1	17.7	19.7	16.9	16.8	18.6	19.0	19.3	19.7	21.4	22.1	24.2	-
為替相場 (ドル/ルーブル) <sup>(6)</sup>	63.0	67.0	77.7	73.7	70.8	70.0	73.4	74.6	79.7	79.3	75.9	73.9	76.3
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) <sup>(7)</sup>	63.7	55.7	32.0	18.4	29.4	40.3	43.2	44.7	40.9	40.2	42.7	50.0	54.8

(1) 『ロシア短期経済指標 (2021 年 1 月)』 (2021 年 3 月 4 日) の数値。2020 年 Q4 は算術平均による筆者計算値。

(2) 『ロシア短期経済指標 (2021 年 1 月)』 (2021 年 3 月 4 日) の数値。

(3) OKVED・第 2 版の産業部門分類 (2018 年価格) に基づく。『ロシア短期経済指標 (2021 年 1 月)』 (2021 年 3 月 4 日) の数値。

(4) ロススタットウェブサイト掲載値 (2021 年 3 月 9 日更新値)。年次データは前年 12 月比、四半期データは対前年同期比、月次データは前月末比の増減率である。

(5) UISIS データ (2021 年 3 月 3 日更新値)。

(6) 『ロシア短期経済指標 (2021 年 1 月)』 (2021 年 3 月 4 日)。年次・月次データは、期末の数値。四半期は 3 か月平均値。

(7) スポット価格。四半期データは月次データの平均値。アメリカ合衆国エネルギー省 (2021 年 3 月 10 日更新値)。

(8) 省庁間統一情報統計システム (UISIS データベース) の 2021 年 3 月 9 日更新値。

(出所) ロシア連邦国家統計庁 (ロススタット) ウェブサイト最新値; 『ロシア短期経済指標 (2020 年 9 月号)』 (ロシア連邦国家統計庁); 『ロシア社会経済情勢 (2020 年 5 月号)』 (ロシア連邦国家統計庁); 省庁間統一情報統計システム (UISIS データベース)。

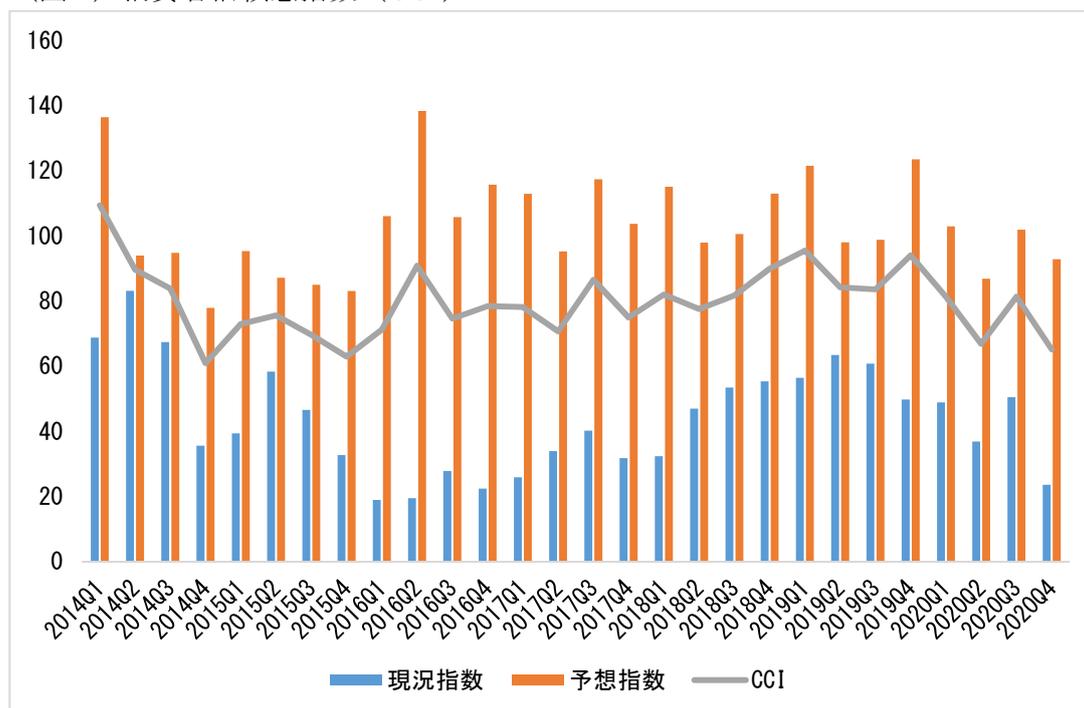
(ERINA 調査研究部研究主任 志田仁完)

## モンゴル

### 消費者信頼感指数（CCI）

モンゴルの消費者の経済に対する信頼は、2020年の第4四半期にわずかに低下した（図1）。消費者信頼感指数（CCI）は、2019年の第4四半期より28.8ポイント低く、65.1である。消費者の現在のビジネスおよび労働市場の状況に対する評価から計算された現況指数は、49.7から23.6に急激に低下した。消費者のビジネス、収入、労働市場の状況に対する短期的な見通しを示す予想指数は、123.4から92.8に低下した。

（図1）消費者信頼感指数（CCI）

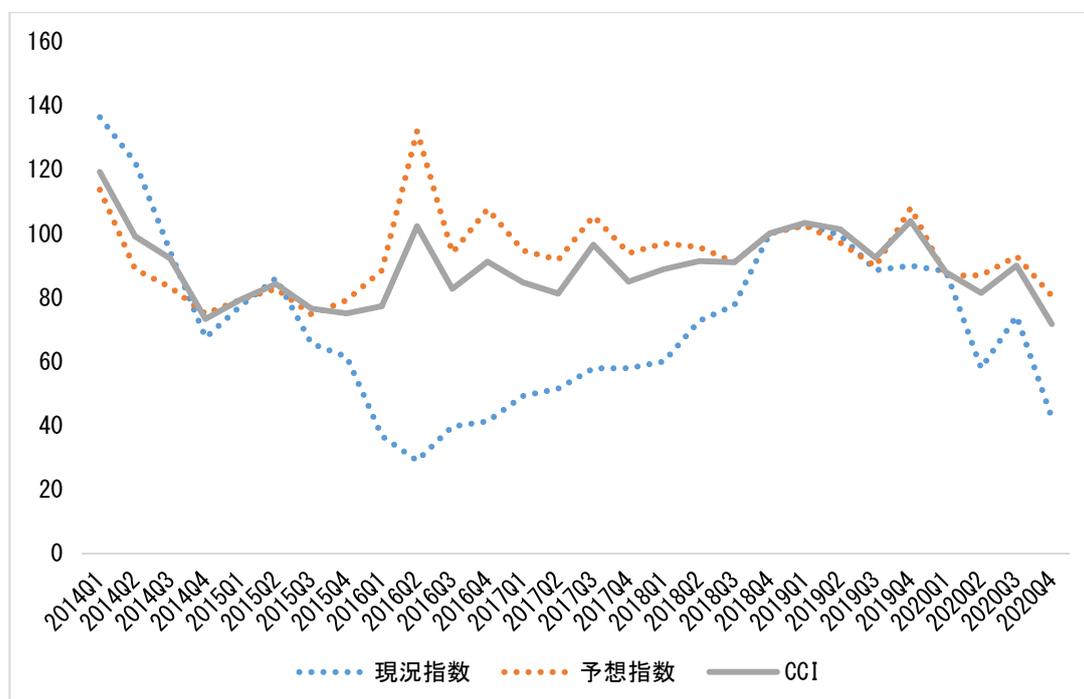


COVID-19 関連の検疫による経済の縮小は、雇用機会を減らし、ビジネス状況を悪化させ、現在の経済状況に対する消費者の評価を低下させた。パンデミックに関連する不確実性が高まっているため、ビジネス状況、雇用機会、収入に対する消費者の期待も低下している。

過去 20 年間の主要なマクロ経済指標の動態分析は、モンゴル経済が 2018 年に正常な状態にあったことを示している。これにしたがって、2018 年第 4 四半期の消費者の信頼を基準として調整した CCI を算出した。図 2 は調整された CCI を示している。調整後の指数は、2018 年と比較した現四半期の消費者の楽観と悲観を反映している。指数が 100 の場合、消費者の信頼感は 2018 年と同じレベルであることを意味する。100 未満は 2018 年第 4 四半期と比較した悲観論を示し、100 は楽観的であることを示す。

前四半期中に CCI は 18 ポイント減少した。これは経済の現在および将来の状態に対する消費者の信頼が前四半期に低下したという事実によるものである。

(図 2) 消費者信頼感指数 (CCI) (2018 年第 4 四半期基準)



2020 年第 4 四半期の時点で、ウランバートルの CCI は 69 である。現況指数は 27 で、予想指数は 97 である。農村部の消費者信頼度は都市部よりも低く、平均 CCI は 62 である。中央地域は消費者の CCI が 67 で最も楽観的である。東部、西部、カンガイ地域の消費者の CCI がそれぞれ 55、62、57 で、より悲観的である。

2020 年第 4 四半期の耐久消費財の需要は 2020 年の平均レベルに比べて縮小した。また、前年同期のレベルに比べても小さくなっている。この減少は主に観光需要の減少によるものである。次の 6 か月で、消費者の 14.4% が自動車の購入を計画し、6.7% が不動産の購入を計画し、世帯の 10.2% が大型家電製品の購入を計画している。

2020 年の第 4 四半期の時点で、今後 6 か月の予想インフレ率は 6.2% と推定されている。前年同期比 2.2 ポイント、前期比 2.5 ポイント上昇している。2020 年第 4 四半期の、2020 年第 2 四半期の調査から推定された予想インフレ率は 3.8% であった。期間中の実際のインフレ率は -0.4% であった。四半期 CCI の開始である 2014 年の第 1 四半期以降、6 か月の予想インフレ率は平均 3.5% であったが、実際のインフレ率は 2.2% であった。

2021 年の第 4 四半期のインフレ率は 10% になると予想されている。前年同期の水準から 3 ポイント高くなっている。2020 年第 4 四半期の年間インフレ率は 7% と予想されていたが、実際のインフレ率は 2.3% であった。2014 年の第 1 四半期以降、予想年間インフレ率は平均 5.5% であったが、実際のインフレ率は 4.8% であった。

調査参加者の 38.1% は、米ドルの為替レートが前年度から 4.9 ポイント低下すると予想している。消費者は、今後 6 か月間で 1 ドル = 2912 トウグルグの為替レートを期待している。2020 年第 4 四半期の実際の米ドルの為替レートと比較すると、予想為替レートは約 62 トウグルグ高くなっている。

住宅価格予想指数は、来年の住宅価格変動に対する消費者の認識に基づいて算出されている。消費者が住宅価格が安定していると予想する場合、この指数は1を取る。消費者が住宅価格の上昇を予想している場合、指数は1より大きく、消費者が価格の低下を予想している場合、指数は1より小さくなる。前四半期では指数は低下し1.0になっている。

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率(対前年同期比:%)	1.2	5.3	7.2	5.2	▲ 5.3
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	12.3	13.0	4.8	2.4	▲ 5.2
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	1.1	4.3	6.8	7.3	3.7
登録失業者(千人)	34.4	25.5	25.0	20.8	18.1
対ドル為替レート(トゥグルグ)	2,148	2,441	2,473	2,664	2,813
貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%)	21.0	30.5	22.8	7.0	16.3
融資残高の変化(対前年同期比:%)	6.1	9.6	26.5	5.1	▲ 4.9
不良債権比率(%)	8.5	8.5	10.4	10.1	11.7
貿易収支(百万USドル)	1,558	1,863	1,137	1,492	2,282
輸出(百万USドル)	4,916	6,201	7,012	7,620	7,576
輸入(百万USドル)	3,358	4,337	5,875	6,128	5,294
国家財政収支(十億トゥグルグ)	▲ 3,660	▲ 1,742	3	▲ 628	▲ 4,539
国内貨物輸送(対前年同期比:%)	20.0	15.3	14.6	7.4	1.1
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)	7.9	9.1	13.5	13.5	10.3
国内道路貨物輸送(対前年同期比:%)	78.4	33.6	17.3	▲ 6.6	▲ 24.5
成畜死亡数((対前年同期比:%)	2.3	▲ 38.8	3.0	▲ 58.0	85.0

	2019年1Q	2019年2Q	2019年3Q	2019年4Q
実質GDP成長率(対前年同期比:%)	8.6	6.4	4.6	2.2
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	11.5	6.6	2.8	6.0
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	7.0	7.7	8.4	6.0
登録失業者(千人)	21.8	23.0	20.4	20.8
対ドル為替レート(トゥグルグ)	2,639	2,645	2,667	2,704
貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%)	22.6	16.6	14.0	7.0
融資残高の変化(対前年同期比:%)	23.5	18.3	11.1	5.1
不良債権比率(%)	10.7	10.5	10.9	10.1
貿易収支(百万USドル)	486	559	302	145
輸出(百万USドル)	1,772	2,167	2,007	1,674
輸入(百万USドル)	1,286	1,608	1,705	1,529
国家財政収支(十億トゥグルグ)	194	108	183	▲ 1,112
国内貨物輸送(対前年同期比:%)	9.5	5.3	16.7	▲ 1.8
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)	12.6	14.3	14.4	12.8
国内道路貨物輸送(対前年同期比:%)	1.5	▲ 13.6	21.6	▲ 38.4
成畜死亡数((対前年同期比:%)	▲ 73.6	▲ 66.2	▲ 65.9	▲ 57.6

	2020年1Q	2020年2Q	2020年3Q	2020年4Q	2020年12月	2021年1月
実質GDP成長率(対前年同期比:%)	▲ 10.7	▲ 9.1	▲ 3.1	▲ 0.3	-	-
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	▲ 17.1	▲ 14.7	0.2	10.9	16.9	8.7
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	6.1	3.6	2.4	2.7	2.3	2.4
登録失業者(千人)	19.4	19.6	17.8	18.1	18.1	16.5
対ドル為替レート(トゥグルグ)	2,757	2,799	2,847	2,851	2,850	2,850
貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%)	3.8	5.5	9.8	16.3	16.3	18.0
融資残高の変化(対前年同期比:%)	▲ 1.8	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 4.7
不良債権比率(%)	10.7	11.0	11.4	11.7	11.7	11.7
貿易収支(百万USドル)	▲ 126	494	851	1,064	314	181
輸出(百万USドル)	1,036	1,792	2,319	2,429	721	640
輸入(百万USドル)	1,162	1,299	1,468	1,366	407	459
国家財政収支(十億トゥグルグ)	▲ 276	▲ 1,922	▲ 541	▲ 1,800	▲ 828	▲ 119
国内貨物輸送(対前年同期比:%)	▲ 6.3	▲ 8.5	1.9	17.0	-	-
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)	10.8	12.6	13.0	5.0	-	2.5
国内道路貨物輸送(対前年同期比:%)	▲ 54.5	▲ 68.8	▲ 19.9	73.1	-	-
成畜死亡数((対前年同期比:%)	89.2	78.0	78.4	98.0	-	6.1

(注)消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所)モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか

(国立調査コンサルティングセンター (NRCC) 所長・モンゴル国立大学経済学部准教授 バトチュレン・アルタンツェツェゲ)  
(モンゴル日本人材開発センター所長 ツェンドダワー・ダワードルジ)  
(NRCC 研究員・モンゴル国立大学経済学部准教授 バトベヘ・ソヨルマー)

## 韓国

### マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が1月26日に公表した2020年の経済成長率（速報値）はコロナ禍の影響を受け▲1.0%となり、アジア通貨危機の1998年以来のマイナス成長となった。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は▲2.4%で前年の2.9%からマイナスとなった。そのうち民間最終消費は▲5.0%と大きく落ち込んだ。一方、固定資本形成は2.6%で前年の▲2.8%からプラスに転じた。その内訳では建設投資は▲0.1%で前年の▲2.5%からマイナス幅が縮小した。設備投資は6.8%で前年の▲7.5%からプラスに転じた。外需である財・サービスの輸出は▲2.5%で前年の1.7%からマイナスとなった。

2020年第4四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比1.1%となり、前期の同2.1%から低下した。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同▲1.3%で前期の同0.1%からマイナスとなった。固定資本形成は同2.6%で前期の同▲1.4%からプラスに転じた。その内訳では建設投資は同6.5%で前期の同▲7.3%からプラスに転じた。設備投資は同▲2.1%で前期の同8.1%からマイナスとなった。外需である財・サービスの輸出は同5.2%で前期の同16.0%から低下した。

2020年の鉱工業生産指数の伸び率は0.4%であった。2020年第4四半期の伸び率は季節調整値で前期比3.7%となり、前期の同5.7%から低下した。月次では季節調整値で、2020年12月に前月比3.7%となっている。

2020年の失業率は4.0%で前年の3.8%から上昇した。2020年第4四半期の失業率は季節調整値で4.1%であった。月次では2020年12月4.1%、2021年1月は5.4%となっている。

2020年の貿易収支（IMF方式）は819億ドルの黒字で、前年の798億ドルを上回った。2020年第4四半期の貿易収支は306億ドルの黒字、月次では2020年12月には105億ドルの黒字であった。

2020年の対ドル為替レートは1ドル＝1180ウォンで、前年の同1166ウォンから減価した。2020年第4四半期は同1116ウォン、月次では2020年12月に同1095ウォン、2021年1月に同1099ウォン、2月に同1112ウォンと推移している。

2020年の消費者物価上昇率は前年比0.5%であった。2020年第4四半期は前年同期比0.4%であった。月次では2020年12月に前年同月比0.5%、2021年1月に同0.6%であった。2020年の生産者物価上昇率は▲0.5%であった。2020年第4四半期は前年同期比▲0.2%であった。月次では2020年12月に前年同月比0.2%、2021年1月に同0.8%であった。

### 2021年及び2022年の経済展望

韓国銀行は2月25日に経済見通しを発表した。2021年の成長率は3.0%と予測した。コロナ禍に見舞われた2020年の▲1.0%からプラス成長に回復する。また2022年の成長率は2.5%としている。2021年の期間別の成長率については、年前半が前年同期比2.6%、

年後半が同 3.4%と後半の回復傾向を予測している。

2021 年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が 2.0%で 2020 年実績の ▲5.0%からプラスに復帰する。設備投資は IT 部門において拡大し 5.3%となる。建設投資は低迷から徐々に回復し 0.8%となり、2020 年実績の ▲0.1%からプラスに転ずる。外需である輸出は世界経済の改善と半導体需要の回復により 7.1%となり、2020 年実績の ▲0.5%からプラスに転ずる。

2021 年の失業率については 4.0%で 2020 年の 4.0%から横ばいとしている。雇用者数の増加は 8 万人で 2020 年の ▲22 万人からプラスに回復すると見込んでいる。2022 年については失業率は 3.8%、雇用者数の増加は 18 万人としている。

一方、2021 年の消費者物価上昇率は 1.3%で、2020 年の 0.5%から上昇すると予測している。2022 年については 1.4%としている。

### 人口減少と合計特殊出生率

2 月 24 日に統計庁が発表した人口動向調査(暫定値)によれば、2020 年末の人口は 5182 万 9000 人で、前年を約 2 万人下回り、初の人口減少を記録した。また一人の女性が生涯に産む子供の数に相当する合計特殊出生率は 0.84 となり、史上最低を記録した。これは住宅費や教育費の高騰で、若い世代が子供を持つことを諦める現状を反映したものである。韓国は中長期的な社会の再生産の観点から、深刻な状況を迎えつつある。

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	20年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	20年11月	12月	21年1月
実質国内総生産 (%)	2.9	3.2	2.9	2.0	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 3.2	2.1	1.1	-	-	-
最終消費支出 (%)	3.0	3.1	3.7	2.9	▲ 2.4	▲ 4.4	1.4	0.1	▲ 1.3	-	-	-
固定資本形成 (%)	6.6	9.8	▲ 2.2	▲ 2.8	2.6	0.5	▲ 0.4	▲ 1.4	2.6	-	-	-
鉱工業生産指数 (%)	2.2	2.5	1.5	▲ 0.1	0.4	0.1	▲ 7.1	5.7	3.7	0.3	3.7	-
失業率 (%)	3.7	3.7	3.8	3.8	4.0	3.7	4.2	3.8	4.1	4.1	4.1	5.4
貿易収支 (百万 USドル)	116,462	113,593	110,087	79,812	81,945	15,629	9,501	26,202	30,614	9,951	10,496	-
輸出 (百万 USドル)	511,926	580,310	626,267	556,668	516,604	129,622	108,779	132,100	146,104	46,918	52,589	-
輸入 (百万 USドル)	395,464	466,717	516,180	476,856	434,659	113,993	99,278	105,898	115,490	36,968	42,093	-
為替レート (ウォン/USドル)	1,160	1,130	1,101	1,166	1,180	1,195	1,220	1,188	1,116	1,115	1,095	1,099
生産者物価 (%)	▲ 1.8	3.5	1.9	0.0	▲ 0.5	0.4	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.3	0.2	0.8
消費者物価 (%)	1.0	1.9	1.5	0.4	0.5	1.2	▲ 0.1	0.6	0.4	0.6	0.5	0.6
株価指数 (1980.1.4 : 100)	2,026	2,467	2,041	2,198	2,873	1,717	2,108	2,328	2,873	2,591	2,873	2,976

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は 2015 年基準

貿易収支、輸出入は IMF 方式、輸出入は f o b 価格

(出所) 韓国銀行、統計庁他

(ERINA 調査研究部主任研究員 中島朋義)

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

### 咸鏡北道、羅先市、咸鏡南道で災害復興住宅が竣工、新居入りの儀式が行われる

2020年11月23日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡北道漁郎郡龍坪里と咸鏡南道虚川郡新洪労働者区に新たな住宅（災害復興住宅）が建てられた。同月30日発、『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道新浦市、端川市、利原郡、徳城郡、北青郡、咸鏡北道清津市、金策市、漁郎郡、吉州郡と羅先市先鋒区域等の災害地域に数千世帯の住宅が建設され、キム・ Cholサム咸鏡北道党委員会委員長、パク・マンホ同道人民委員会委員長、キム・ボンヨン咸鏡南道人民委員会委員長、シン・ヨン Chol 羅先市党委員会委員長、シン・チャンイル同市人民委員会委員長、関係部門の活動家、建設者、被災地住民らが参加した新居入りが行われた。

### 羅先ビール工場が竣工

2020年11月30日発『朝鮮中央通信』によれば、羅先市先鋒地区に瓶洗浄工程から包装工程まで自動化された羅先ビール工場が竣工し、同月29日、竣工式が行われた。同工場で生産されるビールには「豆満江ビール」という商標が付いている。

### 平安北道昌城郡に羊飼育場が竣工

2020年11月30日発『朝鮮中央通信』によれば、同月29日、平安北道昌城郡の活動家と勤労者たちが新たに建設した羊飼育場の竣工式が行われた。

### 咸鏡南道で高原大興発電所が操業開始

2020年12月1日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道に高原大興発電所が建設され、操業を開始した。操業式にはキム・ドゥホン咸鏡南道党委員会副委員長、関係者、突撃隊員と工場従業員が参加した。

### 平安北道で東来江貯水池が竣工

2020年12月1日発『朝鮮中央通信』によれば、平安北道で東来江貯水池が竣工した。同貯水池の建設により、洪建島干拓地の数千町歩に及ぶ耕地に灌漑用水を十分に保障できるようになった。ムン・ギョンドク平安北道党委員会委員長、関係者、鴨緑江地区灌漑管理所従業員、建設者の参加の下で、同年11月30日に竣工式が行われた。

### 全国的に冬季の植樹

2020年12月1日発『朝鮮中央通信』によれば、全国的に冬季の植樹が行われているとのことである。国土環境保護省山林総局と山林部門では自然災害を被ったり、活着率が高くない地域をもれなく探し出し、植林を行うようにしているとのことである。

## 最高人民会議常任委員会第 14 期第 12 回総会

2020 年 12 月 5 日発『朝鮮中央通信』によれば、同月 4 日、平壤の万寿台議事堂で行われた。崔龍海最高人民会議常任委員会委員長が総会を司会した。

太亨徹、パク・ヨンイル最高人民会議常任委員会副委員長ら、コ・ギルソン同書記長をはじめとする最高人民会議常任委員会委員たちが総会に参加した。最高人民会議常任委員会と内閣の当該幹部がオブザーバーとして参加した。

総会には「朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議を招集することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国反動思想文化排撃法を採択することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国科学技術成果導入法を採択することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国林業法を採択することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国移動通信法を採択することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国中央裁判所判事召還および選挙について」などの議案が上程された。

総会ではまず、本会議に提起された朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第 14 期第 4 回会議を招集することに関する最高人民会議常任委員会決定を全員一致で採択した。

最高人民会議法制委員会が審議された準拠法の基本内容に対する解説があった。

反動思想文化排撃法は、反社会主義思想文化の流入、流布行為を徹底的に防ぎ、われわれの思想、われわれの精神、われわれの文化をしっかりと守り抜くことによって思想的陣地、革命陣地、階級的基盤をいっそう強めるうえですべての機関、企業所、団体と公民らが必ず守らなければならない準則を規制した。科学技術成果導入計画の作成と示達、掌握と統制、遂行情況総括において厳しい規律を確立することに関する問題、科学技術成果導入に関する審議、審査、評価、確認活動で科学性、客観性、正確性を保障することに関する問題などが科学技術成果導入法に具体的に明らかにされている。林業法では国家的投資の下で近代的な林業拠点をしっかりと築き、循環式伐採方法を正しく適用して国の森林資源を引き続き増やしながらか丸太生産を正常化し、大衆的運動で植樹と手入れをおこない、木材の供給および販売、利用で制定された規律と秩序を徹底的に守ることに関する問題が強調された。移動通信法には、移動通信施設の建設と管理・運営、移動通信網の近代的な完備、移動通信の多様化、多様化実現、移動通信サービスと利用、移動通信設備の登録をはじめ移動通信事業で提起される原則的問題が反映された。

総会では上程された法案に対する真摯な研究討議に基づいて朝鮮民主主義人民共和国反動思想文化排撃法、科学技術成果導入法、林業法、移動通信法を採択することに関する最高人民会議常任委員会政令が全会一致で採択された。

総会では朝鮮民主主義人民共和国中央裁判所判事を召還および選挙した。

## 咸鏡北道の被災地に千数百世帯の住宅建設、新居入りの儀式

2020 年 12 月 9 日発『朝鮮中央通信』によれば、 216 師団と社会安全省旅団の軍人

建設者と突撃隊員らが咸鏡北道の会寧市、茂山郡、穩城郡、慶興郡、慶源郡の被災地に建設した千数百世帯の住宅の新居入りの儀式が行われた。

儀式には、パク・マンホ咸鏡北道人民委員会委員長、キム・グァンチョル、キム・ボンギル咸鏡北道党委員会副委員長ら、216 師団と社会安全省旅団の指揮メンバー、関係者が参加した。

社会安全省旅団の軍人建設者らは新しい村にりんごの木、梨の木、スモモをはじめとする数千株の果樹も植えたとのことである。

### 慈江道で 860 余世帯の農村住宅を新たに建設

2020 年 12 月 12 日付『労働新聞』によれば、慈江道で農村住宅建設を推進し、今年 860 余世帯の住宅を新たに建設したとのことである。

江界市では、野鶴野菜専門協同農場の面ぼうを一新させ、慈城郡ではヌプトク協同農場にモデル村をうち建てたのに続けて郡内の各所に数十世帯の住宅を建設した。中江郡では 80 余世帯の文化住宅を地方の特色が生きるように建設した。松源郡では、100 余世帯の住宅を、満浦市、時中郡、和平郡などの幹部と勤労者も内部予備を積極的に探し出し、農村住宅建設を推し進めたとのことである。

### アロニアの栽培の科学化を推進

2020 年 12 月 16 日付『朝鮮新報』電子版によれば、北朝鮮では経済的価値が高いアロニアの栽培に力を入れているとのことである。アロニアは 1985 年 10 月 17 日に旧東ドイツベルリン種子および育苗工場の支配人が金日成主席と金正日総書記にプレゼントした植物であるとのことである。

現在、黄海北道燕灘郡が産地として有名であるが、全国各地で栽培されている。山林科学院経済林研究所ではアロニア栽培をより科学的に行う研究を進めているそうである。

### 各地で温泉探査が活発におこなわれる

2020 年 12 月 20 日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮各地で温泉探査が活発に行われているとのことである。今年、黄海南道三泉郡邑地区と黄海北道谷山郡文陽里地区、咸鏡南道金野郡温香里地区と咸鏡北道明川郡黄津里地区、鏡城郡冠帽里地区で温泉の水量を増やすための探査を終え、平安北道雲山郡、慈江道東新郡、両江道普天郡、江原道法洞郡、南浦市温泉郡などの各地域では温泉を新たに探したり水量を増やしたりするための活動が引き続き力強く繰り広げられているそうである。

平壤市の各地域と白頭山地区の温泉探査でも成果が収められているとのことである。探査省の幹部は現場を一つずつ任されて出向き研究者と共に新しい温泉試掘位置を確定し、ボーリング探鉱をおこなった。この過程で黄海北道谷山郡文陽里地区と黄海南道

三泉郡邑地区で水量が多い新しい温泉を探し出し、両江道普天郡内谷里地区と南浦市温泉郡邑地区では温度が高い温泉を探し出したとのことである。

#### **咸鏡南道で 920 余世帯の農村住宅を新たに建設**

2020 年 12 月 23 日付『労働新聞』によれば、咸鏡南道で 920 余世帯の農村住宅を新たに建設したとのことである。北青郡龍田果樹農場、徳城リンゴ農場に低層住宅がモデルとして建てられた。耀徳郡、高原郡でも 80 日間戦闘期間に文化住宅を建設した。定平郡、楽園郡の建設者は自分が住む故郷の村を自力で建設するとして、設備、資材を自力で解決しながら住宅にふさわしい理髪室、美容室、風呂場などを整えた便宜サービス施設網も立派に整えた。新興郡、咸州郡、赴戦郡等でも新たな住宅が建設されたとのことである。

#### **光川養鶏場飼料保障農場に千数百世帯の住宅建設、新居入り儀式が行われる**

2020 年 12 月 28 日付『労働新聞』によれば、黄海北道黄州郡に家禽部門のモデルとして建設中である光川養鶏場の飼料を保障する農場に千数百世帯の住宅が建設された。黄海北道黄州郡光川里、長沙里、黒橋里にまたがる新しい村の住宅周辺にはアンズ、柿をはじめとする果樹が植えられ、芝生も植えられた。住宅入舎の集いが 27 日、光川里、長沙里、黒橋里の農場の村でそれぞれ行われたとのことである。

#### **黄海南道でチャヤン山ミネラルウォーター工場、道保健酸素供給所が完工**

2020 年 12 月 29 日付『労働新聞』によれば、黄海南道海州市鵲川地区にチャヤン山ミネラルウォーター工場が完工した。同工場の技術者たちは国家科学院電子工学研究所との緊密な連携の下で、生産工程の統合制御システムを実現したし、海州トラクター部品工場などの勤労者も完工に寄与した。また、道保健酸素供給所も完工した。

#### **朝鮮労働党中央委員会第 7 期第 22 回政治局会議**

2020 年 12 月 30 日付『労働新聞』によれば、同月 29 日、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で、朝鮮労働党中央委員会第 7 期第 22 回政治局会議が開かれた。

同会議には、金正恩朝鮮労働党委員長のほか、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員と党中央委員会政治局委員、委員候補が参加した。

金正恩委員長の指導の下、金才龍党中央委員会副委員長が会議を司会した。

会議は、朝鮮労働党第 8 回大会準備活動について研究した。朝鮮労働党各級組織代表会で選挙された代表者に対する資格審査を行って決定を下し、第 8 回党大会の執行部と幹部壇、秘書部の構成案、党大会の議定に応じた日程を討議、確定し、党大会に提起する文書について審議した。

朝鮮労働党中央委員会政治局は、上記の問題に対する真摯な研究を行い、上程された

議定を承認した。朝鮮労働党中央委員会政治局は、朝鮮労働党第8回大会を2021年1月初旬に開会することに関する決定を採択した。

会議では、全党と全人民の非常な政治的熱意によって、「80日間戦闘」の期間、各分野において革新的成果と前進を成し遂げて、第8回党大会の招集のための立派な条件を整え、第8回党大会の諸般の準備活動が順調に締めくくられていると評価し、大会準備活動を引き続き実質的に立派に行うことで、大会活動の成果を徹底的に保証すべきであると強調した。

党中央委員会政治局はまた、第8回党大会に上程する一連の重大な問題について深く研究、討議し、当該の決定を採択した。

### 朝鮮労働党第8回大会代表証授与式

2020年12月31日付『労働新聞』によれば、朝鮮労働党第8回大会の代表証授与式が同月12月30日に行われた。

代表証の授与式ではまず、全党の数百万の党員と全ての朝鮮人民の一樣な意思と切々たる念願を込めて栄えあるわが党の創建者、建設者である金日成主席と金正日総書記に朝鮮労働党第8回大会の代表証を丁重に授与した、とのことである。

朝鮮労働党中央委員会政治局委員で副委員長である第8回党大会準備委員会委員長の金才龍氏は、朝鮮労働党第8回大会は社会主義強国建設偉業を勝利の次段階へ確固と引き上げるための闘争路線と戦略・戦術の方針を提示することによって光榮に輝くわが党の歴史に新しい転換の里程標を立てるようになる重大な政治的出来事になると語ったとのことである。

### 金正恩委員長が新年にあたり全人民に親筆書簡を送る

2021年1月1日付『労働新聞』によれば、金正恩国務委員長は新年にあたり全人民に親筆書簡を送った。内容は次の通りである。

「新年おめでとうございます。

新年を迎え全人民に謹んで祝願のあいさつを捧げます。

全国すべての家庭の大切な幸福がもっとすっかり花咲くことを切に願い、愛する人民の貴い安泰を敬虔に願います。

私は新年にも、わが人民の理想と念願が花開く新しい時代を早めるために力強く闘うでしょう。

困難な年月の中でも変わらずわが党を信じ、いつも支持してくれた心に感謝を捧げます。

偉大な人民を奉じる衷心ひとえに変わらないことを再び誓いながら。

金正恩」

## 朝鮮労働党第8回大会

2021年1月6日～13日付『労働新聞』によれば、朝鮮労働党第8回大会が平壤で開かれた。同大会の内容については、本号の特集記事を参照されたい。

## 朝鮮労働党中央委員会第8期第1回総会

2021年1月11日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央委員会第8期第1回総会が同月10日、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部会議室で開かれた。同総会の内容については、本号の特集記事を参照されたい。この会議で、金正恩朝鮮労働党委員長は、朝鮮労働党総書記に推戴された。

## 金日成広場で平壤市軍民連合大会

2021年1月17日発『朝鮮中央通信』によれば、同月15日、金日成広場で平壤市軍民連合大会が行われた。崔竜海、李炳哲、金徳訓の各氏が、幹部壇に姿を現した。党と政府の幹部と委員会、省、中央機関、平壤市内の党、行政の責任活動家、労働革新者、武力機関の活動家が、幹部壇についた。大会には、委員会、省、中央機関の活動家、平壤市内の機関、工場、企業、協同農場の活動家、勤労者、朝鮮人民軍および社会安全軍の将兵が参加した。

崔竜海最高人民会議常任委員会委員長が演説した。

崔竜海委員長は、歴史的な第8回党大会で敬愛する金正恩同志を朝鮮労働党の首班として再び高くいただいたのは全ての党員と全朝鮮人民の絶対的な信頼と限りない忠孝の心の噴出であり、朝鮮式社会主義勝利の決定的保証をもたらし、明るい前途を約束した革命的大慶事であると述べた。また、全ての党員と人民、人民軍将兵の烈火のような忠誠の心を込めてわが党とわが人民の偉大な指導者である金正恩総書記に最大の栄光と最も熱烈な祝賀を謹んでささげた。そして、活動家と党員と勤労者、人民軍将兵が第8回党大会の基本思想、基本精神でしっかり武装し、革命的情熱を百倍にして社会主義の建設で実際の成果、実質的な前進をもたらすことについて強調した。さらに、党中央の周りに一心同体となって固く団結して、社会主義偉業のさらなる勝利を収めるために、人民の理想と念願が実現される新しい時代を早めるために、第8回党大会の決定貫徹に力強く奮い立つことを熱烈に呼びかけた。

大会では、楊勝虎内閣副総理、平壤市党委員会の金栄煥責任書記、朝鮮人民軍の将官キム・グァンヒョク氏が討論した。各討論者は、不世出の偉人である金正恩総書記を朝鮮労働党を代表し、導く最高の首位に変わることなく高くいただいたわが人民の大きな誇りと幸福について激情に駆られて述べた。

そして、党大会の決定貫徹において最も重要な革命課題は国の経済を一日も早くもり立てて人民の生活で実質的な改善をもたらすことだと述べ、自力更生、自給自足を新たな国家経済発展5カ年計画の基本種子、主題とした党の意図に即して経済の作戦と指揮

を綿密に行って人民が体感できる革新と発展、実質的な変化を成し遂げる決意を披歴した。各討論者は、朝鮮革命の新しい高揚期、荘厳な激変期を開くための闘いで首都党員が中核、先鋒闘士となって新しい平壤精神、平壤速度を創造し、人民生活の安定、向上に党活動の火力を集中することについて言明した。

また、人民軍は朝鮮労働党の革命的武装力、国家防衛の基本力量、革命の主力部隊として党と革命に対して担った聖なる使命と任務を果たすことで、党中央の指導を忠実に支えていくと強調した。各討論者は、首都の全ての党員と人民、人民軍将兵が金正恩総書記を忠誠を尽くして仰ぎ従い、以民為天、一心団結、自力更生の崇高な理念をより高く掲げて党大会の決定実行に決死の覚悟で奮闘して、社会主義わが国家の復興、繁栄を先導する新たな平壤繁栄期を必ずもたらすことを固く決意した。

続けて、大衆デモがあった。

### 朝鮮労働党第8回大会記念閲兵式

2021年1月15日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党第8回大会記念閲兵式が同月14日夕、平壤の金日成広場で行われた。金正恩総書記が参加した。

閲兵式の奏楽は国務委員会演奏団、国防省中央軍楽団が担当した。崔龍海最高人民会議常任委員会、趙甬元朝鮮労働党中央委員会書記、李炳哲党中央軍事委員会副委員長・党中央委員会書記、金徳訓内閣総理が幹部壇についた。

朴泰成、チョン・サンハク、李日煥、金頭日、崔相建、金才竜、呉日晶、金英哲、呉秀容、鄭京擇、李永吉、朴太徳、ホ・チョルマン、キム・ヒョンシク、朴明順、李哲萬、太亨徹、金榮煥、パク・ジョングン、楊勝虎、チョン・ヒョンチョル、李善権各氏をはじめとする第8期党中央指導機関メンバーが幹部席に姿を現した。朴正天、クォン・ヨンジン、金正官各氏をはじめとする軍部の指揮メンバーが幹部席に姿を現した。党と政府、軍部で長い間活動してきた金永南、崔永林、楊亨燮、金己男、崔泰福、金京玉、李勇武、朴奉珠各氏が幹部壇に招待された。招待席には、朝鮮労働党第8回大会の参加者と特別客が席についた。

歌謡「かがやく祖国」が奏楽される中、21発の礼砲が発射され、朝鮮民主主義人民共和国国防相の金正官が演説した。続いて、国旗掲揚式が行われた。その後、閲兵が行われた。

### 閲兵式における金正官国防相の演説

2021年1月15日発『朝鮮中央通信』によれば、同月14日に行われた朝鮮労働党第8回大会記念閲兵式での金正官国防相の演説内容は次の通り。

「尊敬する全国人民と勇敢な共和国武力のすべての将兵たち！

閲兵部隊指揮官、戦闘員たち！

党第 8 回大会代表者と平壤市民のみなさん！

今日われわれは新しい希望と抱負、信念と大きな激動を抱いて栄光に輝く朝鮮労働党第 8 回大会を記念する盛大な閲兵式を挙行することになります。

今日の閲兵式は金正恩を首班とする朝鮮労働党の革命偉業を先頭に立って擁護し、支えていく英雄的なわが武装力の戦闘的気概と強大な力を再び内外に誇示し、党第 8 回大会が開いた新時代の闘いへと全党、全民、全軍を力強く鼓舞、激励する歴史的契機になるでしょう。

いま、ここ金日成広場に力強く行進することになる共和国の威風堂々たる精鋭部隊と無敵の鉄甲隊伍は、われわれの絶対的な力の象徴です。

今日、われわれは意義深いこの閲兵式で金正恩の指導に従って明日のさらなる勝利と繁栄をもたらす確固たる自信を抱いて勇敢で、凛々しく行進します。

われわれが進む道は、社会主義わが朝鮮をより強大で富裕な未来に押し進めるこの上なく神聖で誇らしい道であり、われわれの最強の力は金正恩の周りに全党、全民、全軍がひとつに固く結集した渾然一体、一心団結にあります。

われわれは全軍に党中央の唯一的指導体系をいっそう徹底的に確立してわが軍隊を金正恩の指導思想で息づくひとつの全一体としていっそう強化するでしょう。

共和国武力はいつも金正恩同志の命令と指示にだけに忠実であろうし、党が任せた革命の最前線、最前方で自己の使命と任務を立派に遂行していくでしょう。

共和国武力は、朝鮮半島地域でのあらゆる軍事的脅迫を徹底的に抑制するであろうし、もし敵対勢力がわが国家の安全を少しでも侵害するなら、われわれの最も強力な攻撃的な力を先制的に動員して徹底的に膺懲し、祖国と人民の安全、われわれの社会主義制度を鉄壁に守るでしょう。

わが軍隊は、朝鮮労働党の新しい歴史的進軍を最強の軍事力で保証するでしょう。金正恩同志がいて、われわれは必ず勝利します。

偉大な金正恩元帥万歳！

わが人民のすべての勝利の組織者であり、響導者である栄えある朝鮮労働党万歳！」

#### 閲兵式に引き続き花火が打ち上げられる

2021 年 1 月 15 日発『朝鮮中央通信』によれば、同月 14 日夕の閲兵式に続き、花火が打ち上げられた。

#### 最高人民会議第 14 期第 4 回会議

2021 年 1 月 18 日発『朝鮮中央通信』によれば、同月 17 日、平壤市の万寿台議事堂で最高人民会議第 14 期第 4 回会議が開催された。同会議の内容については、本号の特集記事を参照されたい。

### 金正恩国務委員長、米国を訪問して帰国した高位級代表団を接見

2021年1月23日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤電子医療器具工場が近代化され、同月22日に竣工式が行われた。同工場には、高純度蒸留水器、電子胃内視鏡、デジタルレントゲン診断装置、磁気共鳴画像診断装置（MRI）など、電気・電子医療器具の生産と組み立てを工程別に専門的に行える設備が完備されているとのことである。

朝鮮労働党中央委員会の崔相建書記とリ・ソンハク内閣副総理、チェ・ギョン Chol 保健相、万景台区域党委員会のリ・イルベ責任書記など関係者らが、リニューアルされた平壤電子医療器具工場を見て回った

(ERINA 調査研究部主任研究員 三村光弘)